

29年4月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成29年 4月1日～ 28年4月10日

2. 調査実施方法

全国の合板工場-1に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
10月分の回答企業数は6社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 国産原木入荷動向 Weight. D. I.

品目		29/4月	5月	6月
入荷動向	スギ	△ 10.0	△ 12.5	12.5
	ヒノキ	△ 16.7	0.0	0.0
	カラマツ	10.0	0.0	0.0
	トドマツ	0.0	△ 16.7	16.7
消費動向	スギ	△ 10.0	△ 12.5	37.5
	ヒノキ	△ 16.7	△ 16.7	16.7
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トドマツ	0.0	0.0	0.0
在庫動向	スギ	△ 10.0	12.5	△ 12.5
	ヒノキ	0.0	16.7	△ 16.7
	カラマツ	10.0	△ 12.5	△ 12.5
	トドマツ	0.0	△ 16.7	0.0

・スギ合板原木の入荷は4月、5月は減少するが、6月は増加。ヒノキも4月は減少するが、5月、6月は横ばいで推移。カラマツは4月が増加、5月、6月は横ばいに。トドマツは4月は横ばい、5月は減少、6月は増加に。

・スギ及びヒノキの合板原木の消費は稼働に数により4月、5月に減少するが、6月は増加に。カラマツ及びトドマツは3カ月連続して横ばいで推移。

・スギ合板原木の在庫は4月がやや減少、5月が増加、6月は再び減少に。ヒノキは4月横ばい、5月増加、6月は横ばいに。カラマツは4月は増加、5月、6月は減少に。トドマツは4月は横ばい、5月は減少、6月は再び横ばいに。

(2) 合板用原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	29/4月	5月	6月
スギ	0.0	0.0	0.0
ヒノキ	0.0	0.0	0.0
カラマツ	20.0	12.5	12.5
米マツ	50.0	33.3	16.7
北洋カラマツ	16.7	16.7	16.7
その他	-	-	-

・スギ及びヒノキの合板用原木の購入価格は横ばいで推移だが、カラマツは強含みで推移。

・米マツ及び北洋カラマツは強含みで推移。

モニターからのコメント

(原木荷動き)

- ・入荷はスギ、ヒノキが計画数量を下回っている。生産計画に沿って消費、スギ、ヒノキの在庫は減少。
- ・入荷は、4月から5月は入荷日が減るため減少する。消費は稼働日数で決まるので、4月～5月は減少、6月から増加する。在庫はできるだけ増やしていきたい。
- ・生産に合わせて入荷、消費は生產品名の枚数により多少増減はあるがほぼ横ばい。
- ・入荷、消費とも4月、5月は大型連休があり、また4月は決算期もあり若干少ない予定。在庫は決算期のため若干減る予定。
- ・入荷はカラマツ以外は順調、消費は5月連休にて減。

(原木価格)

- ・原木価格は全樹種上昇、特にカラマツの上昇が目立つ。
- ・相場が下がってきている。製材を含めて動きが悪い時期に入る。
- ・スギは安定しているが、カラマツは強含み。
- ・カラマツは取り合いにより上昇、外材も上昇傾向。

29年4月分 合板工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

4. 調査結果の概要

(1) 生産動向 Weight. D. I.

品目		29/4月	5月	6月
生産動向	構造用(9mm)	△ 20.0	△ 12.5	12.5
	〃 (12mm)	8.3	0.0	20.0
	〃 (15mm)	△ 8.3	△ 10.0	10.0
	〃 (24mm)	0.0	△ 10.0	10.0
	〃 (28mm)	△ 8.3	△ 10.0	10.0
出荷動向	構造用(9mm)	△ 25.0	△ 16.7	16.7
	〃 (12mm)	8.3	0.0	20.0
	〃 (15mm)	△ 8.3	△ 10.0	20.0
	〃 (24mm)	0.0	△ 10.0	20.0
	〃 (28mm)	△ 8.3	△ 10.0	20.0
在庫動向	構造用(9mm)	10.0	0.0	0.0
	〃 (12mm)	△ 8.3	△ 10.0	0.0
	〃 (15mm)	8.3	0.0	0.0
	〃 (24mm)	0.0	△ 10.0	0.0
	〃 (28mm)	0.0	0.0	0.0

- ・構造用合板生産及び出荷は12mmを除き、4月、5月減少するものの、6月は増加。
- ・構造用合板の在庫は一部増減がみられるものの、総じて横ばいで推移。

(2) 構造用合板出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	29/4月	5月	6月
構造用(9mm)	0.0	0.0	0.0
〃 (12mm)	8.3	0.0	0.0
〃 (15mm)	8.3	0.0	0.0
〃 (24mm)	8.3	0.0	0.0
〃 (28mm)	0.0	0.0	0.0

- ・構造用合板の出荷価格は4月のやや強含みから、4月、5月は保合に。

モニターからのコメント

(構造用合板の荷動き)

- ・生産、出荷計画に沿って稼働、出荷は中厚物の増加が目立つ、在庫は全品種減少。
- ・フル生産の状態が続くが、発生状況に合わせての生産内容となる。4月末から5月連休にかけて設備メンテにより生産減となる。出荷は、従来であれば4月から落ち着く動きになるが、12mmネダノンとともに引き合いが強い。在庫は低水準のままで増える状況にないが、一服感が出てくると増える可能性あり。
- ・生産は12mmを多くした分、9mmと15mmを減らした。在庫は各品目低水準で横ばい。
- ・構造用合板12mmは、需要があるため生産をアップする予定。
- ・5月連休により生産減、出荷は注文残にて4月、5月と生産同等、6月から引き合いあり。在庫は一旦増えたが、5月連休明けから減少へ

(構造用合板の価格)

- ・構造用合板の出荷価格はほぼ横ばい。
- ・原木価格次第では、価格見直しもあり得る。このまま様子見の状態。
- ・各品目ほぼ横ばい。
- ・原料ほか、外部の単価上昇によりコストアップになれば上昇やむなし。